

2013 年度スキルズラボ研修参加者インタビュー

2013 年度スキルズラボ研修全 3 回に参加した卒業生からお話を伺いました。



2012 年 3 月卒業 深尾 和哉さん
大阪大学医学部附属病院 集中治療部 勤務



2012 年 3 月卒業 後藤 由香里さん
済生会野江病院 産婦人科 勤務

Q1. なぜ、スキルズラボ研修に参加しようと思いましたか？

後藤：臨床でありあまり遭遇しない場面をシミュレーションすることで、自分の知識・体験になる機会になればと思い参加しました。

深尾：私は昨年度も参加しましたが、母校で顔見知りの先生方から研修を受けられることで、率直な質問ができることも参加した理由の 1 つです。

Q2. 参加してよかった点について教えてください。

深尾：研修は実践的な内容で、高性能シミュレータでのロールプレイングはリアリティがありました。すぐに臨床で活用できる内容だったと思います。また、ディスカッションを行った後にもう一度シミュレーションを行うといった構成で、学んだことの整理がしやすかったこともよかったです。

後藤：病院でも勉強会はありますが、基本的な知識（解剖・生理、病態など）を振り返ることはあまりありません。でも、スキルズラボ研修は一から振り返ってくれるので、どのポイントの知識が曖昧なのかを発見できました。また、シミュレータもクオリティが高く、より実践に近い体験ができるのも魅力の一つです。

Q3. 京都橘大学で在学中に学んだことが現在、どのように生かされていますか？

深尾：私は ICU で勤務していますが、ほとんど意識のない患者様と接する時も、京都橘大学の理念であった「人によりそう看護」を忘れないように、1 つ 1 つの看護に声かけを行いながらケアにあたっています。

後藤：私も京都橘大学では「人によりそう看護」を一番に学んだと思います。臨床に出てみると、どうしても現象や症状、病態といったことがすぐ見えるので、そちらに集中しがちですが、患者様の気持ち、家族の気持ち、患者様を取り巻く環境のことも配慮していく必要があると思います。そういったことを忙しい日々の中でも一歩立ち止まって考えるよう努めています。

Q4. 最後に、後輩へメッセージをお願いします。

後藤：覚悟を決めて、大学に入ったら全力で勉強してください。勉強は本当は楽しいですよ。働き始めたら、なかなか勉強する時間も確保できません。また、今のうちにしかできないことを全力で楽しんで取り組んでください。全力で取り組むって、暑苦しく聞こえるかもしれませんが、楽しいですよ。

深尾：卒業後は自分の病院内だけで勉強するよりも、病院外での研修などに参加するとそれぞれの病院での知識を共有でき、とても新鮮な刺激になります。特に、スキルズラボ研修ではお世話になった先生や同級生と同窓会のように交流できるのでおすすめです。

ありがとうございました。 また来年度のご参加もお待ちしています！